



Mナビ新聞

—情報教育通信—

第 5 号

令和4年7月28日
宮城県総合教育センター
情報教育班

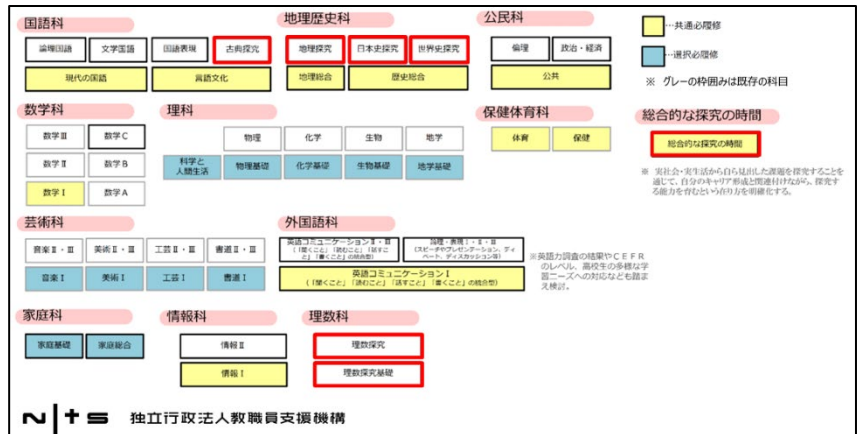
新学習指導要領で授業が変わる ～探究学習～

2022年度より、高等学校の学習指導要領が改訂され、「総合的な探究の時間」が新設されました。これまでは、「小・中学校の取組の成果の上に高等学校では、ふさわしい実践が十分展開されているとは言えない」などの課題がありました。改訂後は、小・中学校における「総合的な学習の時間」の取組の成果を生かしつつ、より探究的な活動を重視する視点から、「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」に改められ、その充実が図られました。

また、探究型の学習科目が数多く新設されましたので、教科等における探究型の学習科目と総合的な探究の時間の違いについては、きちんと押さえておく必要があります。

NITS（独立行政法人教職員支援機構）が公開している動画では、新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価が、詳しく解説されています。高校の先生方の中でも、「探究の授業をどのように実施しようか」「これまでとは何が違うのか」など不安や疑問があるかもしれません。

こちらの動画をぜひ参考にいただき、よりよい学びの質の向上に活かしてください。



教科等における探究科目との違い

- **学習対象が横断的・総合的**
学習対象が、実社会や実生活における複雑な文脈の中に存在する
- **複数の教科・科目等における見方・考え方を総合的・統合的に働かせる**
実社会や実生活における複雑な文脈の中に存在する問題を様々な角度から俯瞰して捉える
- **「最適解」や「納得解」を見出すことを重視**
解決の道筋がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題に取り組む

小中学校の「総合的な学習の時間」との違い

<p>高度化した探究</p> <ul style="list-style-type: none"> 【整合性】探究において目的と方法が一貫している 【効果性】探究において適切に資質・能力を活用している 【鋭角性】焦点化し深く掘り下げて探究している 【広角性】幅広い可能性を視野に入れながら探究している 	<p>より洗練された質の高い探究</p>
<p>自律的な探究</p> <ul style="list-style-type: none"> 【自己課題】自分にとって関わりが深い課題になる 【運用】探究のプロセスを見通しつつ、自分の力で進められる 【社会参画】得られた知見を生かして社会に参画しようとする 	



文部科学省：GIGA 端末、夏期休業期間中の準備や課題解消を要請

文部科学省は2022年6月23日、1人1台端末の積極的な利活用に向けた夏期休業期間中の取組について、ICT活用の成果や課題等を確認し、専門家によるアセスメントを実施する等、今後のさらなる充実に向けた準備を進めるよう全国の学校設置者に求めました。既に多くの学校で計画されているように、保護者の理解も得つつ、夏期休業期間中に1人1台端末等を活用して、基礎的・基本的な内容の定着を図るための学習を効果的・効率的に実施したり、より創造的な課題に取り組ませたりすることが考えられます。

文部科学省が運営する特設Webサイト「StuDX Style」やGIGA StuDX メールマガジン等では、「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末の活用事例等が紹介されており、現在、開発・展開を進めているCBTシステム（MEXCBT：メクビット）では、国や地方自治体等の公的機関等が作成した学習問題を学校や家庭において、オンライン上で学習活用を進めることができます。

是非、夏期休業期間中に1人1台端末等を活用して、学習を効果的・効率的に実施できるよう工夫してみてください。



出典：文部科学省

情報モラル学習サイトの紹介
スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？

学校だけではなく家庭でも、いつでもどこでも、子供たちが情報モラルについて学習することができるサイトです。文部科学省ホームページよりアクセスできます。（パソコン・タブレット・スマートフォンなどから学習が可能）



出典：文部科学省

研修会情報
**高等学校 情報科向け
 夏期休業期間中等における
 高等学校情報科に係る教員研修**

一般社団法人情報処理学会の主催の情報科教員のための研修会が実施されます。詳しくは右下の二次元コードよりご確認ください。

（開催日程：2022年7月31日、8月5日、16日、20日）



出典：一般社団法人情報処理学会

活用場面ごとに、様々な問題に取り組める

- 25個のコンテンツを掲載（令和4年時点）
- 1コンテンツの学習時間は約5～10分（動画視聴含む）
- 小1～高3対象（推奨学年をそれぞれ設定）

【編集後記】今後も先生方のICTを活用した授業づくりを支援する情報を発信していきます。なお、Mナビ新聞では皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。

次号もお楽しみに！〔担当：三浦〕

